

火打山から妙高山縦走

【日程】2015年10月10日(土)～12日(月)[小屋泊]

【メンバー】6人 (男性1名・女性5名)

【アクセス】バス・電車

コースタイム

10/11 笹ヶ峰登山口 08:29→11:17 富士見平分岐
→12:10 高谷池ヒュッテ→12:49 天狗の庭
→14:17 火打山→15:32 高谷池ヒュッテ→16:31 黒沢池ヒュッテ(泊)

10/12 黒沢池ヒュッテ 05:36→06:12 大倉乗越→8:52 妙高山(北峰)
→10:41 大谷ヒュッテ→8:12:15 妙高高原スカイケーブル山頂駅

活動記録

1日目 スタート地点の笹ヶ峰登山口から、真っ盛りの美しい紅葉が始まった。火打山はなだらかな山だと思っていたら、結構ハード。登山口からすぐのところまで長野に引越した山本さんと会えて大感激。しかし、山頂に近づくにつれて登山道は泥でぐちゃぐちゃで、時折激しく降ってくる雨の中での山行となった。

2日目 ヒュッテからいきなりの急登で登山開始。朝から晴れて、火打山のモルゲンロートも見られた。妙高山は、山頂付近は岩稜の急斜面。登るときも降りるときも神経を使う。下山途中からの紅葉も見事で、絶景の中を最後まで景色を楽しみながら登山を終えることができた。

【写真】



1. 妙高高原駅に到着。バスターミナルで、笹ヶ峰行のバスを待つ。



2. 笹ヶ峰に到着



3. 火打山登山口



4. ゲート前で登山届を出して出発



5. すでに紅葉真っ盛り。整備された木道を進む



6. 黒沢橋。ここまでは、なだらか



7. 川を渡る。



8. 十二曲りの始まり。ここから急登



9. 途中のブナの大木。



10. 登ってきた急登を振り返る。ガスがかかってきた。



11. やっと十二曲りを抜けた。



12. 十二曲りを抜けても、急登は続く。岩が大きくてけっこう疲れる。



13. 富士見平に到着。火打山方面に進む。



14. 黒沢岳の山腹を巻く。湿原が現れる。



15. 高谷池ヒュッテに到着。ここで昼食



16. 高谷池ヒュッテから、火打山をめざす。



17. 湿原の中の木道を進む。紅葉がきれい。



18. 天狗の庭。火打山はガスで見えない。



19. うっすらとガスが晴れてきた。



20. 湿原が終わると、岩ゴロゴロの道になる。



21. 途中の鞍部。雷鳥平。雷鳥はいなかった。



22. 天狗の庭がはるか下方に。木階段と岩ゴロゴロの道を登っていく。



23. 山頂三角点に到着。



24. 火打山山頂。ガスって視界なし。この後、下山中にアラレ交じりの雨が降ってくる。



25. 天狗の庭まで戻って、黒沢池をめざす。



26. 茶臼山を通過。



27. 黒沢池ヒュッテが見えてきた。道はぬかるんでドロドロ



28. 黒沢池



29. ヒュッテの晩御飯。シチューと味噌汁、おかずとごはん。豆と漬物。食堂は狭く、ヒュッテは満室だったため、夕食は3回に分けて30分で入れ替え。



30. 5時から朝食。焼きたてのクレープは食べ放題。桃の缶詰とコンソメスープ。コーヒーはおかわり自由。ジャムは自家製のブルーベリー1種類。



31. 5:30、ヒュッテを出発。まだ薄暗かったけれど、ヘッドランプがいるほど暗くもなかった。



32. 妙高山をめざす。いきなりの急登が始まる。



33. まだ、体が慣れてないのに、岩場続き。



34. 昨日登った火打山と、影火打のモルゲンルート。



35. やっと大倉乗越。ここから激下り。



36.めざす妙高山が目前に迫る



37. 外輪山を回り込んで、鞍部へ。



38. 山頂の岩峰が目前に迫ってくる。



39. 樹林帯の中の鞍部に到着。



40. ここからまた、岩場の登りが延々と山頂まで続く。



41. 山頂までもうすぐ。ほとんど垂直。



42. 昨日登った火打山と、活火山の焼山が見える。



43. 山頂の岩場へ。見えているのになかなか着かない。



44. 霜柱が…



45. 岩室。



46. やっと山頂三角点へ到着。ここは北峰。ガスも晴れてきた。



47. 三角点にタッチ。



48. 山頂付近。最高点の南峰は、あと10分ほど先。



49. 山頂から野尻湖を望む。



50. 南峰にむけて出発



51. 日本岩



52. 先ほどいた、北峰



53. のぞき岩



54. 妙高大神の社。



55. ここが南峰。妙高山最高点。



56. はるか下方に、ゴールのスキー場が見える。



57. 西側の雨飾山。



58. 裏側から下る。岩ゴロの斜面をトラバース。



59. ほぼ垂直の鎖場が幾度となく出現。



60. 下から見るとこんな感じ。三点支持で下降



61. やっと風穴まで下ってきた。まだ 1000m 近く下らなくてはいけない。



62. 光善寺池。



63. 天狗堂。ここから赤倉方面へ。



64. 硫黄のにおい立ちこめる、妙高温泉の泉源



65. 大谷ヒュッテ避難小屋。布団があり、室内もとてもきれい。トイレもきれいだった。すぐ下に水場もあり。



66. ヒュッテの前からの景色。ダケカンバの紅葉がみごと。



67. ここからゴンドラ駅までまだ 1 時間ほど歩く。



68. 紅葉の樹林帯を下っていく。ところどころにロープ場あり。



69. 下ってきた斜面を振り返る。



70. 最後はスキー場を下る。



71. 妙高スカイケーブル山頂駅に到着。



72. 10 分で山麓駅へ。このあと、赤倉温泉の立ち寄り湯で汗を流す。